

なごおが Photo ウォンテスガ



▶よみがえれ！カブトガニ

10月11日、笠岡陸上競技場前で大小百六十五匹のカブトガニをちりばめた吉備焼のモニユメントがお披露目されました。これは、吉備焼総本家百周年記念として、四代目窯元の水川創壘さんから市へ寄贈していただいたもので、モニユメント内のカブトガニは市内の小・中学生が制作しました。受納式では、制作にあたった子どもたちも参加して、みんなでモニユメントを除幕してお祝いをしました。



◀老いも若きも 盤の上での真剣勝負

10月1日、笠岡東公民館で囲碁・将棋の楽しさを再認識してもらおうと「世代交流囲碁・将棋大会」が開催されました。

参加したのは、地区の住民約50人で、最年少はなんと小学1年生の女の子。それぞれ、囲碁の部・将棋の部に分かれて、熱い真剣勝負に挑むとともに、世代を超えた交流を深めていました。



▶百歳おめでとう

県と市は、10月中旬に百歳の誕生日を迎えられた藤井馨さん（富岡・10月14日生）と坂田光子さん（入江・10月15日生）を訪問し、お祝いの羽毛布団と吉備焼のつぼを贈りました。

藤井さんは百年の間、生家を離れず現在は息子さん夫婦と暮らしており、「家族には感謝しています。」と話していました。

また、坂田さんは家族全員と一緒に祝い。用意されたくす玉を自ら割って、「バンザイ」とうれしそうな表情をしていました。

藤井さん、坂田さん、いつまでもお元気でいてください。



◀赤い羽根共同募金にご協力お願いしま～す

赤い羽根共同募金運動期間中の10月3日早朝、JR笠岡駅前前で募金活動が行われました。各種団体や市内の高校生で組織されているVYS協議会のメンバーなどが、募金箱とのぼり旗を持って、「ご協力お願いします」と呼びかけ、通学・通勤している人も足を止めて募金し、胸に赤い羽根を付けてもらっていました。

集まった募金は、福祉施設などに配分されるほか、地域の福祉活動などに使われます。

